

シルバー人材センターで配布中

「広報えびな」は毎月2回、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。

☎ 同センター (☎292・0303)。

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046)231・2111 ㊟(046)233・9118

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

# 子育て応援します

昨年、全国の出生数が110万人を下回り、1899年の統計開始以来、初めて日本の人口が減少しました。

人口問題は経済活動や社会保障制度の仕組みの根幹に直結しており、人口の減少はまち全体の活力低下につながります。このため、安心して子どもを産むことができ、子育てしやすい環境を整えることが必要です。

今回は、市が新たに展開する子育てに関する新しい事業をお知らせします。



▲子育て支援センター「すくすくサロン」の様子（左下写真も同じ）

## 子育て支援を強化

これまで中新田保育園内に設置していた子育て支援センターは4月、保健相談センター内に移転しました。これにより、保健師や栄養士と連携した子育て支援がより円滑にできるよう

## 産休明け保育を開始

なりました。  
また5月からは、お子さんを遊ばせながら、子育ての情報交換ができる「すくすく広場」を毎週土曜日に開催していますので、ぜひお越しください。

子育て支援センターの移転に伴い、7月1日から中新田保育園の定員を10人増員し、このうち若干名を産休明け保育とします。  
出産後の早い時期に職場へ復帰するため、産休明けから預かってほしいという市に対する多くの要望を受け、生後8週間をすぎた日の翌月からの受け入れを行います。

## 一人で悩まないで

子育てや家庭の不安などについて相談したいときは、子育て支援センターのほか、児童福祉課内に4月に設置した子ども家庭相談室でも応じています。一人で悩まず、ご相談ください。

## 協力しあう子育て

今年10月1日から、ファミリーサポート・センター事業を社会福祉協議会に委託し、実施します。これは子育て支援を受けたい方と支援したい方が会員となり有償で助け合う制度で、例えば保育施設への送迎や放課後

## 民間保育所の増設へ

の預かりなどに利用できます。  
対象年齢は、生後3カ月からおおむね小学校3年生までです。利用会員・援助会員の募集・登録や利用料金などの詳細は随時、広報えびなや市ホームページでお知らせします。

今後数年内に市内で2カ所、新たな民間保育所の設置が計画されており、市ではこれに対して財政的支援を行う予定です。このような民間への支援を行うことで、市内保育所の定員を増やし、入所待機児童の解消を図っていきます。

### 問い合わせ (直通番号)

☎ 235・4825	子ども家庭相談室
☎ 233・6161	子育て支援センター
☎ 235・4824	児童福祉課



▶遊ばせながら、情報交換